

オオワシ（タカ科） 全長95センチ

昨年までは、2月は最低気温がマイナス10度以下になり、1年で最も厳しい寒さが続いている頃であるが、今のところ積雪も少なめである。

穏やかな天気となったので、日本最大の大きさを誇る猛禽類オオワシ見たさに大湊村に出掛けてきた。例年であれば、大湊村を囲む承水路は全面結氷になりワカサギ釣りで賑わいを見せているところである。しかし今年は3月頃の季節感であり、釣り人は見当たりません。



北海道の流水と見紛うような風景である。

大湊橋から眺めると、北側約1 kmの氷上に1点の黒い塊が見つかった。堤防をゆっくりと近づくと、間違いなくオオワシである。

体は茶褐色でクチバシの一部が黒っぽいことから、成鳥になる前の若鳥のようです。周囲にはカモ類などの冬鳥は見当たりません。大型猛禽類には警戒心が強いのでしょうか。30分ほど撮影していたが、飛び立つ様子もないことから別の場所に移動することにした。



大きな欠伸。



後姿もなかなかですね。

南部排水機場から眺めていたら、上空に2羽のオオワシ成鳥が現れました。お互い、離れたり近づいたりしながら飛んでいたが、突然脚を絡ませながら落下した。

直ぐに体制を立て直し、再び仲良く並んで通り過ぎて行ったのです。この行動は、繁殖期に見られるディスプレイフライトでした。

わざわざ遠い北海道まで行かなくても、秋田で見られる幸運に感謝。



遠すぎて良くわかりませんが、下のオオワシは逆さになりながら脚を絡めています。



2014年にほぼ同じ場所で撮影したものです。成鳥は貫禄ありますね。